

## (5) ファカルティ・ディベロップメント委員会

## ① 設置の趣旨（目的）及び組織

## ア 組織設置の趣旨（目的）

ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会は、上越教育大学における教育活動の質的向上と発展を期して、FD活動を実施することを目的としている。

## イ 組織の構成及び構成員等

FD委員会は、①教育支援高度化専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）1人、②教育実践高度化専攻の各領域から選出された教授又は准教授各1人、③その他学長が指名した者の計12人で構成されている。

## ② 運営・活動の状況

## ア 委員会等の開催状況

令和5年度においては、以下のとおりFD委員会を4回開催した。

- ・ 第1回 令和5年5月8日（月）
- ・ 第2回 令和5年8月1日（火）～7日（月）（書面審議）
- ・ 第3回 令和5年9月25日（水）
- ・ 第4回 令和5年12月18日（月）

令和5年度FD研修会及びFD講演会の内容を検討するため、令和5年5月30日（火）及び7月11日～14日（書面審議）にFD研修会・講演会検討WGを開催した。

## イ 審議された主な事項

- i) 令和5年度FD活動計画
- ii) 令和5年度年度計画に係る実施計画の作成
- iii) 令和5年度授業公開の実施
- iv) 令和5年度学生による授業評価の実施
- v) 令和4年度学生による授業評価報告書の作成
- vi) 令和5年度前・後期「学生による授業評価アンケート」の集計結果に基づく自己評価レポートの作成
- vii) 令和5年度FD研修会及びFD講演会の実施
- viii) 令和6年度以降のフォローアップセミナーの実施方針

## ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

- i) 令和5年度FD講演会及びFD研修会の実施

FD講演会及びFD研修会については、FD活動の一環として、本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図ることを目的として開催している。令和5年度は、授業における合理的配慮への理解を深めるため、令和5年11月22日（水）に「高等教育機関における障害学生に対する合理的配慮の基本的考え方と課題～改正差別解消法の施行を控えて～」をテーマとして講演会を実施した。

また、令和6年2月20日（木）には「発達障害や精神疾患のある学生への支援」をテーマとして、研修会を実施した。

講演会には教職員121人が、研修会には職員及び学生等34人が出席した。

### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

#### ア 優れた点

- i) 「高等教育機関における障害学生に対する合理的配慮の基本的考え方と課題」のテーマで開催したファカルティ・ディベロップメント研修会について、「興味深いテーマであった」「基本的な知識も含め、改めて学ぶ機会があるのは有難かった」「大変わかりやすく、ニーズに即した内容だった」や「授業参加にとどまらず、大学卒業・退学後を見据えた取組が行われていることに驚いた」等の感想が寄せられた。
- ii) 学務情報システムと連携した Web 入力による授業評価アンケートシステムを実施し、引き続き、授業評価アンケートの効率的な実施及びコストの削減に寄与した。

#### イ 今後の検討課題

- i) Web 入力による授業評価アンケートシステムに係る回収率の向上及びシステムの充実
- ii) 授業公開における参観者数の向上
- iii) 大学院改組に伴う「教職大学院フォローアップセミナー」のあり方